

本のぽけっと

2022

5・6年生に
おすすめする
新しい本
発行：市川市中央図書館

あしたのことば

森絵都／作 小峰書店 (2020.11)

913
モ



思っていることがうまく言えない律と、だれかといるときのちんもくが苦手なよけいなことをしゃべってしまう周也。小四から同じクラスなのに今日はずいぶんうまくかみあわない。そんな少し

気まずい下校のときのおはなし。(「帰り道」)

自分のせいで負けてしまったソフトバレエ大会の後、できる女子、富田さんから言われたことばにずっとしばられている美里。今さら話すことなんてできないと思っていたけれど富田さんの「あれ？」という行動に気がついていきます。(「富田さんへのメール」)

ほかにも6つのお話が入っています。

けいそうびじゅつかん 珪藻美術館

ちいさな・ちいさな・ガラスの世界

奥修／文・写真 福音館書店 (2020.9)

473
オ

珪藻という水の中の生き物があります。水の中でガラスのからをつかって生きる、ちいさなちいさな生き物で、数万種類もいると考えられています。顕微鏡でようやく形がわかるほど小さいこの生き物の美しさに、作者は強くひかれました。海や川で珪藻を採集し、ホコリが入らないように慎重にならべ、珪藻アート作品にします。

まずは、珪藻の美しさ、それからどうやってこのガラスの世界を作るのか見てみましょう。



ケンさん、イチゴの虫を こらしめる

「あまおう」栽培農家の挑戦!

谷本雄治／著 フレーベル館 (2020.10)

626
タ



福岡県八女市の農家のケンさんはイチゴの名産品「あまおう」を作っています。それも農薬を使わず、害虫のダニを別のダニで退治する方法にチャレンジしています。そのほかにも

ミツバチの利用などいろいろな方法で、安心安全でおいしいイチゴ作りに日々取り組んでいます。

ケンさんのイチゴ作りに対する努力とガッツを、わかりやすく書いた本です。



たいも 見つけ隊と燃える小屋のなぞ 五人と一匹見つけ隊

イーニッド・ブライトン／著 河合祥一郎／訳

早川書房 (2021.4)

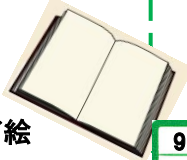
933
フ

ラリーがベッドに入ろうとしたとき、窓の外で炎があがっているのが見えた。妹のデイジーとしてみると、ヒックさんの庭の小屋が燃えていた。どうやらだれかが、わざと火をつけたらしい。ラリー、デイジー、近所に住むピップとその妹のベッツ、そして火事の現場にいた見慣れない男の子ファティと、ファティの犬バスターの五人と一匹は《見つけ隊》を結成し、放火の犯人をさがすことになった。



青の読み手

こもりかおり 小森香折 / 作 ひらさわともこ 平澤朋子 / 絵
 かいせいしゃ 偕成社 (2021.2)



913
コ

ラベンヌ王国の下町に、ノアという少年がいた。養護院で育ち、道案内や裏の仕事をなんでもこなす「下町ネズミ」だ。

ある日、黒ずくめの男から、修道院にある1冊の本をとってきてほしいとの依頼を受ける。とってきたら、姉のようにしたう行方不明のロゼの居場所を教えてくださいという。ところがその本は、普通の本ではなく、選ばれた者だけが読める魔法の書だった。

ぞくへん くれなゐ まじよ 続編『紅の魔女』もあります。



伝統工芸の名人に会いに行く3

曲げわっぱ 大館曲げわっぱ

せとやまふかし 瀬戸山玄 / 文と写真 いわさきしよてん 岩崎書店 (2020.2)



曲げわっぱとは、すぎひのき 杉や檜のうすい板を丸く曲げて、さくら 桜の木の皮でとじ、そこふたをつけた容器です。柴ジイは、しよくにん 職人の技をひとりで身につけ、何十年もかけて曲げものづくりの名人になりました。

伝統工芸をささえる名人の技や作品ができるまでの工程を大きな写真で知ることができるシリーズです。他には①やきもの(おんた焼き)②紙すき(小川和紙)があります。



750
セ
3

科学でナゾとき! 1

わらう人体模型事件

あさだりん / 作 さとう おどり / 絵
 かいせいしゃ 偕成社 (2020.8)



913
ア
1

しょうご 彰吾が六年生になった新学期、理科の特別講師として新たにやってきたのは、なんと父だった。みんなに「キリン先生」とよばれるようになったけど、父であることはひみつだ。そんなある日、彰吾は理科準備室にオバケがでるといいうわさを聞き、友だち二人と確かめにいく。するとだれもいない薄暗い部

屋の人体模型のあたりからわらい声が聞こえるのだ! このナゾを解いたのはキリン先生だ。

科学の力でナゾを解いていくシリーズです。2巻「やまんばの屋敷事件」もあります。



アインシュタイン

時をかけるネズミの大冒険

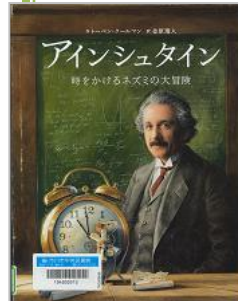
トーベン・クールマン / 作 かねはらみずひと 金原瑞人 / 訳
 ブロンズ新社 (2021.5)



E
ク

小ネズミは、楽しみにしていた世界最大のチーズフェアに1日遅れてしまった。あきらめきれず、時間をもどそうと時計の針を動かすが、うまくいかない。そんな時ぐうぜん見つけたネズミの時計屋から、この街にすんでいたというひとりの科学者を教えてもらう。

その人は時間と空間を研究していたアインシュタインだった。小ネズミは、アインシュタインが働いていたベルン特許局の屋根裏で、時間旅行のできる機械、タイムマシンを作りはじめる。



2020年1月以降に出版されたおすすめの本です。市川市の図書館でかりることができます。

中央図書館 平田図書室 自動車図書館 行徳図書館 信篤図書館 南行徳図書館 市川駅南口図書館